

# LipoTEST Case Report vol.12

2011年12月

## Case12: ウルソ酸の投与と食事療法のみで脂質代謝状態が好転治癒したゴールデン・レトリバーの1例

### 【Profile】

- ・動物種: 犬
- ・品種: ゴールデン・レトリバー
- ・性別: 雌(避妊済み)
- ・年齢: 13歳11ヶ月
- ・体重: 29.4kg
- ・B.C.S=4/5(体重過剰)

### ■病歴:

院内検査にて次第に脂質代謝異常症の進行が疑われるためLipoTESTにて詳細を検査した。

### 【検査】

#### ■院内検査

##### ○血液検査

健康診断で以下の異常が確認された。

- ・肝酵素の異常高値  
(ALP=424IU/l, GGT=117IU/l)
- ・脂質の異常高値  
(T-Cho=415mg/dl, TG=246mg/dl)

#### ■LipoTEST検査所見(1回目)

分類: パターン3・複合型

T-Cho(393.81mg/dl)

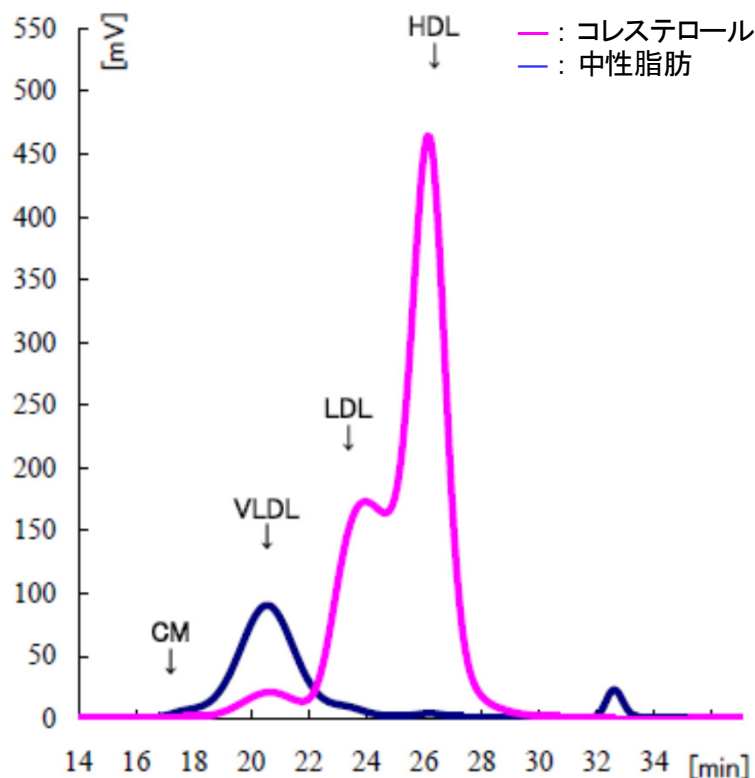
VLDL-Cho(17.7mg/dl)

LDL-Cho(117.76mg/dl)

HDL-Cho(257.64mg/dl)

TG(215.57mg/dl)

VLDL-TG(181.78mg/dl)の異常高値。



### 【治療計画】

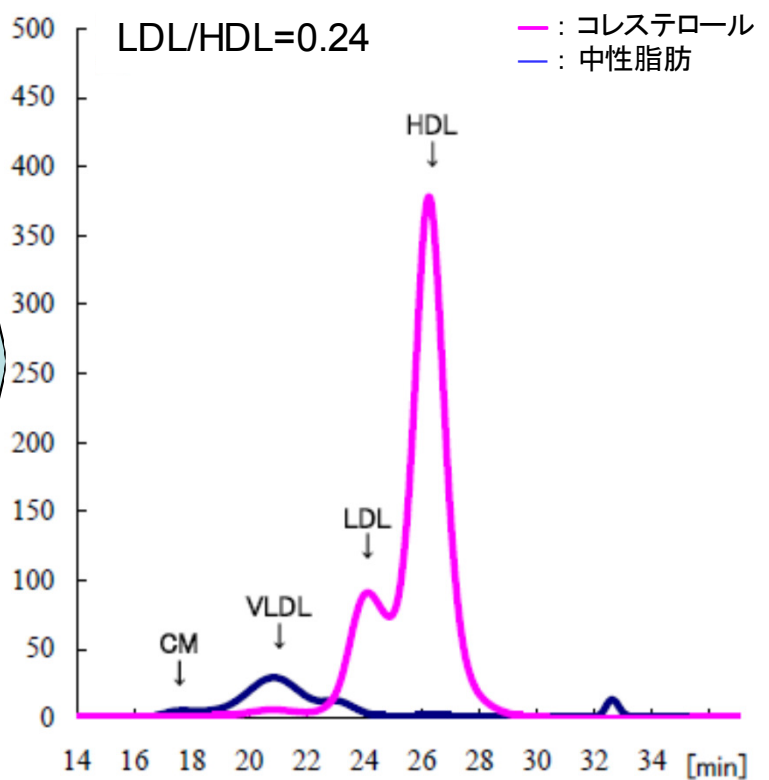
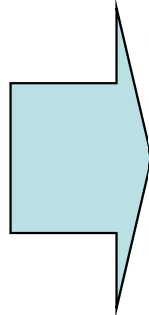
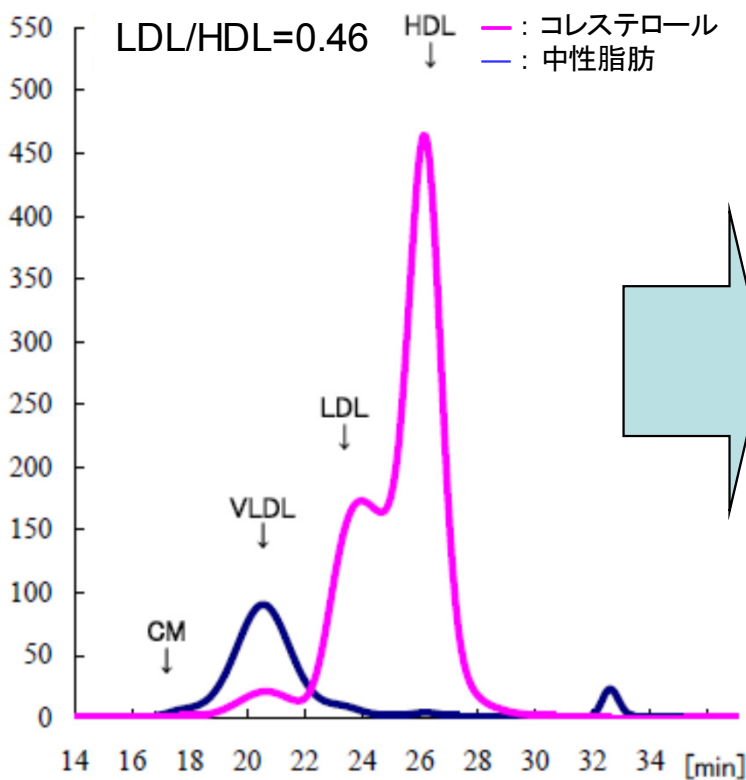
- ・ LipoTESTの結果、脂質代謝異常症と診断した。
- ・ 脂質代謝異常症のため第8病日よりウルソ15mg/kg投与と消化器サポート低脂肪(ロイヤルカナン社)を給餌し、第15病日に一般生化学検査、第49病日にLipoTESTを含めた検査を行った。

⇒ 裏面に続く

# 【LipoTEST 波形データの変化】

～ 1回目結果 ～ 第1病日

～ 2回目結果 ～ 第49病日



## 【解析結果に基づく治療への評価】

- ・1回目のLipoTESTの結果から、複合型の脂質代謝異常症と診断し、ウルソ酸投与と食事療法を行った。
- ・その結果、悪玉コレステロールであるLDL-Cho含め、前回異常値となったLipoTEST項目は全て正常化しており、食事療法による臨床症状の改善と一致した。
- ・生化学項目については第15病日でALP=305IU/l、GGT=83IU/l、T-Cho=291mg/dl、TG=111mg/dl、第49病日ではALP=299IU/l、GGT=56IU/l、T-Cho=237mg/dl、TG=66mg/dlと改善した。
- ・脂質代謝異常症の治療方針や経過を確認する上で、LipoTESTによる分画測定は有用であった。

症例提供：戸田動物病院 藤井忠之先生（埼玉県）

### ◆LipoTESTに関するお問合せ先 スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

\* 検体送付キットの請求は、下記記入のうえ、FAX (03-5731-3631)にてご返送下さい。

病院名		氏名	
住所		TEL	

詳しい情報に関しては、LipoTEST Webをご覧ください。URL: <http://www.lipotest.jp/>